

試験の内容と評価

(試験の評価は全て複数の試験官で実施しています。)

★第1次試験

1 一般教養・教職専門試験 ・100点満点

実施方法	マークシート方式による出題(全試験区分共通)。時間は60分間です。
------	-----------------------------------

2 教科専門試験 ・100点満点

実施方法	マークシート方式による出題(受験区分、教科によって問題は異なります)。時間は60分間です。
------	---

3 小論文A ・100点満点

実施方法	与えられた課題について、600字以内で記述します。時間は60分間です。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none">○テーマを正しく捉え、十分に掘りさげて考えているか(テーマの把握)○基本である三段構成を意識して、論文を組み立てているか(論文の構成)○個性・創造性が感じられるか。教師としての知識や適性があるか(個性・適性)○主張が論理的、客観的、具体的であるか(論旨の妥当性・具体性)○誤字、脱字等がないか。適切な用語を選んでいるか(表現力)

4 集団討論 ・7段階評価

実施方法	与えられたテーマについて10人程度のグループで討論を行います。進行は試験官が行います。時間は1グループ35分間です。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none">○対人関係を円滑に進める能力があるかどうか(対人関係能力)○人柄が教員としてふさわしいかどうか(人柄)○教員に必要な意欲や姿勢があるかどうか(意欲・適性)

★第2次試験

第1次試験合格者について実施します。

小論文Bは第1次試験の受験者全員に実施し、第1次試験の合格者のみ採点します。

1

小論文B

・100点満点

実施方法	与えられた課題について、600字以内で記述します。時間は60分間です。
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマを正しく捉え、十分に掘りさげて考えているか(テーマの把握) ○基本である三段構成を意識して、論文を組み立てているか(論文の構成) ○個性・創造性が感じられるか。教員としての意欲や適性があるか(個性・適性) ○主張が論理的、客観的、具体的であるか(論旨の妥当性・具体性) ○誤字、脱字等がないか。適切な用語を選んでいるか(表現力)

2

実技試験

・100点満点

音 楽

試験内容	評価の観点
聴音 (複旋律)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正確に音価・音程を捉えて記譜をしているか ・ 正しい方法で記譜ができているか
視奏 (初見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記譜された旋律を正確に読譜して歌唱し、旋律にふさわしい和声・伴奏型を付けて演奏しているか ・ 旋律の全体像をつかみ、音楽の流れにのって豊かに表現しているか
ピアノによる伴奏及び歌唱 (暗譜による弾き歌い)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の内容や曲想を生かし、豊かな表現でピアノ伴奏し、歌唱しているか ・ 発声や語感・歌詞のニュアンスなど言葉の特性を生かして歌唱しているか
ピアノ演奏 (暗譜による演奏)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽曲の特徴を捉え曲にふさわしい表現を工夫し、豊かな表現で演奏しているか ・ 中学校の音楽指導に対応できる、ピアノの基礎的な演奏技能をもっているか
ピアノ以外の楽器による独奏 (暗譜による演奏)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽器の特徴を生かして、豊かな表現で演奏しているか ・ 楽器の基礎的な奏法を身に付けて演奏しているか

美術

試験内容	評価の観点
<p>立体 (与えられたテーマを油粘土で立体に表現)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 感性や想像力を働かせ、豊かな発想・構想をしているか 多様な表現方法や材料などの生かし方を工夫し表現しているか 立体としてのものの見方や形体の表し方、意図に応じた材料や用具の生かし方などの基本的技能
<p>デザイン (与えられたテーマを平面で構成)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単純化や省略、強調、構成の仕方、材料を工夫して発想・構想をしているか 造形要素の働きを考え、美しく構成したり、デザインしたりしているか 材料や用具の特性や生かし方、使い方などの基本的技能
<p>風景写生</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対象を深く見詰め感じ取ったことを、自分の表現方法を工夫してスケッチに表しているか 多様な表現方法や材料などの生かし方を工夫し表現しているか 光と陰、奥行きや広がり、色彩の響きあいなどの基本的技能

保健体育

試験内容	評価の観点
<p>体育実技</p> <p>器械運動 (マット必須/鉄棒・跳び箱・平均台から1種目選択 男子は平均台を除く)</p> <p>陸上競技 (ハードル走必須/走り高跳び・走り幅跳びから1種目選択)</p> <p>球技 (バスケットボール・バレーボール)</p> <p>武道、ダンス (剣道・柔道・ダンスから1種目選択)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教材の理解(基本的な動き、技等) 運動に対する基礎的・基本的な能力(授業への対応能力) 運動の技能(技のできばえ、技能の程度) 技能の連続性(素早い判断や、スムーズな動き)

英語

試験内容	評価の観点
<p>スピーチ ディスカッション</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正確で、適切な英語を使うことができるか 自分の考えなどについて、的確に伝えたり、話し合ったり、意見の交換をしたりすることができるか 話し手の考えなどを理解しながら、話し合いに参加しているか
<p>マイクロティーチング</p>	<ul style="list-style-type: none"> 導入のアイデアは、生徒が関心をもてるよう工夫されているか 文法事項を適切な方法で提示することができるか

実施方法	<p>受験者が教師役と児童生徒役になって、「学級担任(又は養護教諭)が教室で学級指導を行う」という設定で行います。教師役の時間は1人5分間です。</p> <p>指導内容(テーマ)は事前に与えられた10個の中から、当日指定した1つで行います。小学校は5年生、中学校は2年生の設定で行います。</p> <p>特別支援学校及び養護教諭は小学5年生又は中学2年生のどちらかを選択して行います。受験者は、教師役、児童生徒役の両方を行います。</p>	
評価の観点	指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の内容を適切に把握し、解決や改善に向けての指導をしている ・発達段階を考慮するとともに、時期や場など状況に応じた指導をしている ・児童生徒からの質問や意見等に対して、適切に対応している
	表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・話の要点が明確であり、説得力のある話し方をしている ・言葉遣いや声の大きさ等が適切である ・児童生徒を引きつける雰囲気や魅力がある
	意欲・人柄	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、落ち着いた表情、様子で指導している ・教職への意欲・熱意や将来性が感じられる

実施方法	<p>複数の試験官で行います。時間は1人25分間程度です。</p>	
評価の観点	社会適応性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としての品性や基本的な素養がある ・質問の意図を正しく理解し、自分の考えをわかりやすく、簡潔に説明している ・考え方に柔軟性、適応性があり、職場の同僚と協働して仕事ができる
	教職への適性	<ul style="list-style-type: none"> ・志望理由が明確であり、教職に対する意欲・情熱を強く持っている ・児童生徒に対する深い愛情が感じられる ・学ぶ姿勢がうかがわれ、将来にわたって成長していく可能性が感じられる
	人柄・性格	<ul style="list-style-type: none"> ・明るさと落ち着きがあり、児童生徒、保護者、同僚からの信頼を得られる ・受け答えに誠意があり、責任感と周囲の言葉を素直に受け止めて、生かしていく姿勢が感じられる
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・教育ボランティア等、子どもと関わる経験 ・教職に生かせる資格、体験 ・その他の実績